

## カンボジア全国にて武器法セミナー開始



「武器・爆発物および弾薬管理改革のための国家委員会(「国家委員会」)支援プロジェクト」の一環として、JSACは国家委員会が全国で実施する武器法セミナーの支援を始めました。

国家委員会は、カンボジアにおける小型武器問題を統括する機関で、内務大臣・国防大臣が議長・副議長を務めています。国家委員会が効果的に活動するためには、カンボジアの小型武器対策の基盤となる武器法を、両省管轄職員が正確に理解していることが不可欠です。このため、JSACは国家委員会が2007年2月から全国で実施する武器法セミナーを支援しています。内務省/警察、国防省/軍、地方行政関係者が武器法についての理解を深めることで、その効果的な施行が図られます。セミナーは全国の州・特別市、各軍司令部などで計33回実施される予定です、6月まで続きます。

JSACはこのように、現場レベルでの住民・地元警察・行政との武器回収活動に加え、全国レベルでの武器管理体制の強化も図っています。

## 武器保管庫の完成

バタンバン州・コンポントム州の州警察が保有する小型武器の管理強化のために支援した武器保管庫や棚の建設・設置が終了し、武器が搬入されました。

保管庫建替以前は、州警察の武器は劣悪な環境に乱雑に保管され、その安全性に疑問が持たれていました。また、保有本数・種類なども正確に記録されておらず、盗難や不正な持ち出しなどが起きて把握できない状況にありました。

このため、JSACは保管庫や棚の建設・調達支援を行い、武器を安全・厳重に管理できる設備を用意すると共に、武器管理強化のために担当警察官らへの研修も支援しました。内務省幹部や研修部が、武器管理に関する法律・規程について改めて教育し、規則に沿った適切な武器登録・運用を徹底しました。研修後、州警察保有の武器情報は全て台帳に登録され、データベースシステムに移行されます。その後は、武器の運用は全てコンピューター・システム化されていくことになります。

厳重な武器管理システム・設備を取り入れ、関係者への研修を強化することで、警察官の武器管理に関する意識も変わっていきます。

### 日本小型武器対策支援チーム (JSAC) 概要

日本政府からカンボジア政府に対し供与された紛争予防・平和構築無償支援「カンボジアにおける平和構築と包括的小型武器対策プログラム」の実施のために、2003年4月日本国際協力システム (JICS) によって設立。5つのプロジェクト (1. 平和のための小型武器削減と開発プロジェクト、2. 小型武器管理・登録支援プロジェクト、3. 小型武器破壊プロジェクト、4. 意識向上プロジェクト、5. 国家委員会支援プロジェクト) の実施を通じて、カンボジアの小型武器削減と平和構築を包括的に支援しています。2007年2月半ば現在、5州にわたり合計26,241丁の小型武器を回収しました。

詳細については、ウェブサイトをご覧ください。URL: <http://www.online.com.kh/users/adm.jsac/>

### Address:

Room No.535, Phnom Penh Center,  
Corner Sihanouk Blvd. No.274 &  
Sothearos St. No.3,  
Sangkat Tonle Bassac,  
Khan Chamkarmon,  
Phnom Penh, CAMBODIA



PHONE: +855-[0]23-224-001

FAX: +855-[0]23-220-330

E-MAIL: [adm.jsac@online.com.kh](mailto:adm.jsac@online.com.kh)

URL: <http://www.online.com.kh/users/adm.jsac/>

国防省が実施する武器法セミナーの様子。

JSACと警察・行政、それにカンボジアNGOが協力し、コンポントム州・バタンバン州で回収された武器は、二度と使われないよう、公開の式典で焼却破壊されています。これら焼却された武器を、彫像にしてカンボジアの平和の象徴にしようと考えたアーティストたちが、現在両州に設置する平和モニュメントの作製に取りかかっています。市民の憩いの場に、銃で出来たモニュメントを2007年9月に展示できる予定です。



新たに建設された武器保管庫内の様子。台帳に登録され、再点検された武器が整然と並び、カギ付きのコードで固定されています。